

TOHO REPORT

第84期（第2四半期） 2020年4月1日▶2020年9月30日

経営方針

研究開発に注力
独創的な技術で新たな価値を創造



さらに詳細な情報はWEBでご覧いただけます。

東邦化学工業株式会社

検索

<https://toho-chem.co.jp>



代表取締役社長

中野龍雄

■ ごあいさつ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された皆様、不自由な生活を余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、医療従事者の方々をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている多くの皆様に深く感謝申し上げます。一日も早い感染の収束を心よりお祈り申し上げます。

さて、第84期の第2四半期決算(2020年4月1日から2020年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここに事業の概要につきましてご報告申し上げます。

決算ダイジェスト

売上高

18,883 百万円

営業利益

255 百万円

経常利益

99 百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

△59 百万円

通期の見通し

売上高

39,000 百万円

営業利益

1,030 百万円

経常利益

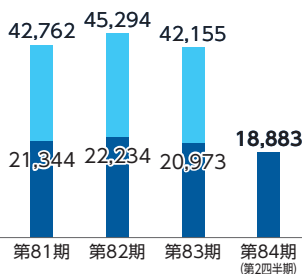
850 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

500 百万円

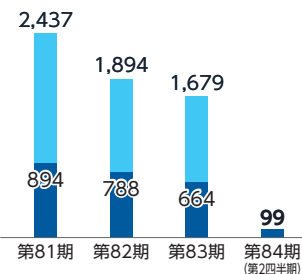
売上高

■ 第2四半期累計(中間) ■ 通期
(単位：百万円)



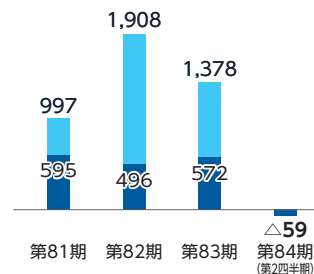
経常利益

■ 第2四半期累計(中間) ■ 通期
(単位：百万円)



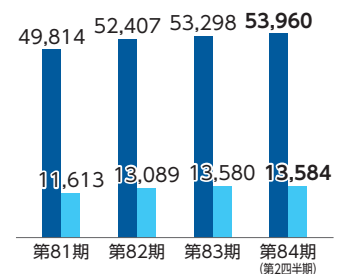
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第2四半期累計(中間) ■ 通期
(単位：百万円)



総資産／純資産

■ 総資産 ■ 純資産
(単位：百万円)



トピックス ▶ コロナ後の早期回復を目指して

2020年年初からの新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大により、世界経済に深刻な影響を与えております。当社におきましても、業績面は第1四半期(2020年4~6月)を底に回復へと向かいつつありますが、通期予想は誠に遺憾ながら前期比で大幅な減収減益となる見通しです。現在当社では、新型コロナ収束後のV字回復を目指してその足場を固めるべく、新三カ年中期経営計画に掲げた重要課題に全力で取り組んでおります。

東邦化学(上海)有限公司 第2期増設プロジェクト完工、試生産開始

新三カ年中期経営計画の最重要課題の1つである東邦化学(上海)有限公司 上海工場の第2期増設プロジェクトは、新型コロナウイルスの影響を受けて工事が一時中断しましたが、3月中旬より再開し、6月末に完工。行政区の許可を得て8月18日より試生産を開始いたしました。

現在は、2021年春の営業生産に向けた審査・生産許可取得を目指しております。

新たなプラントの稼働により、生産能力が年産約8千トン増加する他、従来の設備では生産することができなかった高温反応を必要とする製品の製造が可能になり、取扱製品の幅も広がります。

開発中の製品については、研究開発スタッフが新型コロナウイルスの影響で中国に入国できず、試作面などで遅れが生じておりますが、現地に駐在する日本人スタッフを中心に対応し、早期の販売実績化に向けて努力を続けております。



新たに完成した第2生産棟(中央)と危険物倉庫(左・丙類、右・甲類)

新・電子情報材料プラント建設に着工

千葉工場で新たに建設予定の新・電子情報材料プラント(電子情報産業用微細加工用樹脂製造プラント)の工事が8月より始まりました。

新型コロナウイルスの影響で世界経済が停滞する中、半導体市場はリモートワークの普及による通信量増加やデータセンターへの投資急増などの恩恵を受け、伸調しております。

当社におきましても、電子情報産業分野の売上高は今上期に前年同期比11.4%の増収となり、下期も引き続き堅調に推移する見通しで、来期以降

も更なる需要増が見込まれます。

5G・IoT社会に向けて今後も長期的な成長トレンドが続く見通しの半導体需要を着実に取り込むべく、2021年秋の竣工を目指して建設工事を進めております。



始まった新電材プラント建設工事の様子

東邦化学工業の新型コロナウイルス対策

当社では、感染が広がる新型コロナウイルスに対し、徹底した感染予防対策と社員の働き方改革を実施してまいりました。

当社の取扱製品にはお客様にとって欠かすことのできない主要原料が多数存在しており、生産活動が中断する事態となればお客様に大きな影響を与えてしまいかねず、経営陣以下全社員が「社内感染は絶対に阻止する」との覚悟で各種対策を講じております。

マスク着用、頻繁な手洗いや消毒、こまめな換気や毎日の検温の励行はもちろんのこと、検温カメラや飛沫防止パネルの設置、時差出勤や在宅勤務の導入とそれらを可能にする各種システム投資、本人及び同居家族に発症の疑いがある場合に取得できる特別有給休暇制度の整備、生産現場で発症した際も生産活動を中断させない体制づくりなど、考え得るリスクを洗い出し、迅速かつ適切に対処しております。

これら全社を挙げての感染予防対策により、幸いにして当社及び当社グループにおける新型コロナウイルス感染者は11月末現在発生しておりませんが、本格的な冬を前に日本でも感染が再拡大しており、いまだ予断を許しません。

当社では常態化しつつある「withコロナ」の環境下でもお客様に製品を安定的に供給すべく、新型コロナウイルス感染が収束する日まで全社一丸となって感染予防対策に努めてまいります。

セグメント別の概況



※上記区分以外に「その他」として、売上高33百万円(売上高構成比0.2%)、セグメント利益△10百万円(前年同期△5百万円)があります。
 ※各セグメント利益に帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が△66百万円(前年同期12百万円)あります。

連結財務データ

主な経営成績 (百万円)	第79期 2016年3月 (通期)	第80期 2017年3月 (通期)	第81期 2018年3月 (通期)	第82期 2019年3月 (通期)	第83期 2020年3月 (通期)	第84期 2021年3月 (第2四半期)
売上高	39,110	38,549	42,762	45,294	42,155	18,883
営業利益	1,155	2,214	2,398	2,200	2,006	255
経常利益	709	1,557	2,437	1,894	1,679	99
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△231	317	997	1,908	1,378	△59
純資産	9,982	10,260	11,613	13,089	13,580	13,584
総資産*	45,483	46,687	49,814	52,407	53,298	53,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	2,764	4,004	1,998	4,059	656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△784	△467	△1,068	△2,867	△4,067	△1,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△749	△1,005	258	819	933
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,243	6,830	8,789	8,068	8,805	8,356

*第82期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の適用に伴い、第81期の総資産は遡及処理後の数値で表示しております。

1株当たりデータ (円)	第79期 2016年3月 (通期)	第80期 2017年3月 (通期)	第81期 2018年3月 (通期)	第82期 2019年3月 (通期)	第83期 2020年3月 (通期)	第84期 2021年3月 (第2四半期)
純資産	463.89	477.35	540.89	610.23	633.40	633.67
四半期(当期)純利益	△10.84	14.90	46.76	89.47	64.64	△2.77
配当金	6	6	10	12	15	—

主な指標	第79期 2016年3月 (通期)	第80期 2017年3月 (通期)	第81期 2018年3月 (通期)	第82期 2019年3月 (通期)	第83期 2020年3月 (通期)	第84期 2021年3月 (第2四半期)
自己資本比率 (%)	21.8	21.8	23.2	24.8	25.3	25.0
ROA(総資産経常利益率) (%)	1.6	3.4	5.1	3.7	3.2	—
ROE(自己資本当期純利益率) (%)	△2.2	3.2	9.2	15.5	10.4	—
PER(株価収益率) (倍)	—	20.1	13.2	4.2	7.4	—
配当性向 (%)	—	40.3	21.4	13.4	23.2	—

より詳細な情報は当社ホームページよりご覧ください。
<https://toho-chem.co.jp/ir/>

株主の皆様のお声を聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



ネットで
アンケート
Provided by TAKARA Printing

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから、**2021年1月29日(金)**までになります。
- ご回答いただいた方の中から抽選で「**QUOカード(1,000円分)**」を進呈させていただきます。

※当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。
<https://q.srdb.jp/>



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

【個人情報の取り扱いに関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」および「抽選に当選された株主様への謝礼の送付」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

会社概要・株式の状況等 (2020年9月30日現在)

概要

- 社名 東邦化学工業株式会社
TOHO CHEMICAL INDUSTRY COMPANY, LIMITED
- 設立 1938(昭和13)年3月18日
- 資本金 17億5,550万円
- 営業目 界面活性剤、樹脂、化成産品、スペシャリティケミカル
- 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第2部)
- 会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

役員

代表取締役社長	中崎龍雄	取締役	脇田雅元
常務取締役	江藤俊幸	取締役	中野憲一
常務取締役	井上豊	取締役	下田晴久
常務取締役	永岡幹人	取締役	池田亮
		取締役	野村公喜 ^(*)
		取締役	綾部収治 ^(*)
		常勤監査役	大熊道男
		常勤監査役	越智英隆 ^(*)
		監査役	山本一郎 ^(*)

(*)は社外取締役 (**)は社外監査役

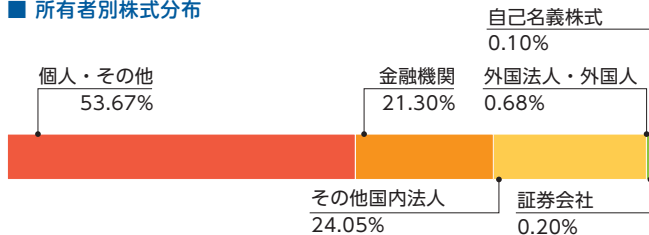
株式の状況

- 株式数 発行可能株式総数 85,000,000株
発行済株式の総数 21,350,000株
- 株主総数 5,041名
- 大株主(上位10名)

株主名	保有株式数 (千株)	持株比率 (%)
東邦化学工業取引会社持株会	3,446	16.15
中崎 龍雄	2,528	11.85
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・三井化学株式会社退職給付信託口)	1,390	6.51
三井物産株式会社	1,233	5.78
株式会社三井住友銀行	1,065	4.99
東邦化学工業従業員持株会	927	4.34
三井住友信託銀行株式会社	675	3.16
三井住友海上火災保険株式会社	550	2.57
丸紅株式会社	503	2.36
株式会社菅野商事	302	1.41

(注)持株比率は自己株式(21,990株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



〒104-0044 東京都中央区明石町6-4(ニチレイ明石町ビル)
TEL 03-5550-3737



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

